

自然と文化科 活動記録 (草本観察会)

日時	2024年4月26日(金) 10:00~14:30	担当者
場所	流谷～蠟梅の里 3班 4班 集合 10:00 1班 2班 集合 10:20	文: 木邨 圭子 写真: 玉尾 洋一
備考	参加者数 1班15名 2班15名 3班15名 4班14名 合計59名	

リーダー 3班田中悦→4班福島→1班今本→2班篠田(敬称略) の順に10:00スタート
 行程 天見駅 ～ 流谷八幡神社 ～ 蠟梅の里(オプション) 往復 約5km(解散14:30)



行程内で見られた植物

スズメノエンドウ(巻きひげ3分枝種子2)・ヤハズエンドウ(巻きひげ3分枝種子5~10)・カスマグサ(巻きひげ1種子4)・ヤブニンジン・カキドオシ・クサノオウ(黄色花)・オオイヌノフグリ・タチヌノフグリ・フラサバソウ・ツタバウンラン群生・ヒメウス・スイバ・ハルジオン(茎中空 花序垂れる)・ヒメジョオン(茎詰まる 花序垂れない)・タツナミソウ2種・オランダミミナグサ(毛多い)・ミミナグサ(茎暗紫色)・ツボミオオバコ・ヤワゲフウロ(ピンク)・ムラサキサギゴケ(黄褐色の斑点大きい)トキワハゼ(黄褐色の斑点小さい)・ウマノアシガタ(黄色)・ジシバリ(葉 卵円形)・オオジシバリ(葉 ヘラ形)・ツルカノコソウ・カラスビシャク・ムラサキケマン・キランソウ・ホウチャクソウ(枝分かれ)・ツボスミレ・タチツボスミレ・オオアマナ(園芸種)・ヨシノアザミ・ミツバツチグリ・ヤマハタザオ(白花)・フタリシズカ・ヤマトチャルメルソウ(花卉の形が特異で羽状に5から9裂まるで骨のよう

な形。花卉の形は夜に来る特定の昆虫の脚が花卉につかまりやすい構造になっている。種子は雨滴散布される。)その他多数の植物が見られたが紙面上省略。2班3班4班は蠟梅の里まで行き1班は行かず駅まで引き返した。

(感想) 曇り空で暑くなく、よい観察日和だった。色とりどりの花が見られ木々の緑が鮮やかで春の季節を味わった。



ヤマトチャルメルソウ



ヤマハタザオ



クジャクシダ



シロバナコバノタツナミ